



旧石器から縄文へ

—中部日本の地域的様相—

2020年12月12日(土) 午後12:00～16:40

事前登録制

今回のシンポジウムはZoom Meetingを利用したリモート開催となります。

開催情報を受け取るために下記アドレスにアクセスし、氏名、メールアドレス、所属を登録してください。

●登録フォーム <https://forms.gle/1agyQMtwSyX6csmWA>

定員は250名、受付締切は12月5日(土)となっております。

申し込み頂いた方には12月7日(月)頃を目途に、

当日のシンポジウムを視聴するためのURLと発表要旨(PDF)をメールで配布します。

●問い合わせ先：meiji.cols@gmail.com



第I部 研究発表 12:00～15:00

- ・あいさつ (石川日出志)
- ・「赤城山南麓の北方系細石刃石器群の文化受容」(諸星良一)
- ・「中部地方北部の移行期 <上原E・大刈野遺跡を中心に>」(佐藤雅一)
- ・「湧別技法の在地的変容」(堤 隆)
- ・「関東最古の土器型式と石器群 ～大平山元 I 遺跡の無文土器は最古か?～」(栗島義明)
- ・「隆起線文土器群の成立とその様相 一本州東部を中心に」(村上 昇)
- ・「近畿・中国・四国地方における旧石器文化の終焉と移行期の様相」(絹川一徳)
- ・「九州の旧石器・縄文時代移行期の様相」(芝 康次郎)
- ・「環日本海北部地域における土器出現期 ～アムール川下流域を中心に～」(橋詰 潤)

第II部 総合討論(司会:栗島) 15:10～16:40

